

学校だより

頸城

平成 31 年 4 月 17 日 No. 1

上越市立頸城中学校

〒942-0164 頸城区 湊口 60

TEL 530-2405 FAX 530-2014

学校メール kubiki-j@jorne.or.jp

ご入学おめでとうございます

上越市立頸城中学校 校長 田中 敦

4月8日（月）に40回目の入学式が行われました。新入生75名が真新しい制服に身を包み、入学してきました。3年間という短い年月で、この頸城中学校で多くのことを学び、たくさんの思い出をつくってほしいと思います

さて、中学校生活で一番大切なことは、「自分らしさを発見し、自立して生活できる力を育てる」ところです。よく子供たちは、「みんながそうしているから」「みんなが持っているから」「自分だけ仲間はずれになりたくないから」といって、同じような行動をし、同じ持ち物を持ち、同じような服装をしたがります。しかし、それでは自分の判断も個性ありません。みなさんはやがて自分の力で生きていく時がきます。その勉強をするのが中学校なのです。

まず、基礎的な勉強をしっかり行い、はっきりとした考えを持つこと。そして、自分が考えたように行動してみることが大事です。これが「自分の力で行く」ということです。人に言われたからとか、わからないからといって、人のせいにしてはいけません。中学校生活のスタートを切る今だからこそ、自分の力で目標を立て、行動してみることに価値があるのです。

例えば、朝は自分で起きる、食べた食器は自分で洗う、自分の洗濯物は自分でたたむ、提出物の期限を守る、人のいやがることをしないなど、「自分の力で」やり抜いてほしいのです。時には失敗し、くじけそうになることもあるでしょう。そのときは、何度でもやり直し、そしてたくさんの仲間と励まし合い、多くの経験をして、自分を高めていってください。

保護者や家族の皆様、お子様のご入学おめでとうございます。本校に入学させてよかったと思われるよう、私たち教職員は生徒一人一人の教育に「愛」をもって、関わっていく所存です。中学生の時期は個人差があるものの心も体も大きく成長します。しかし、精神的にはまだまだ幼い部分があります。ご家族の皆様の手助けが必要になります。どうか、お子様につかず離れず、ちょうどよい距離感を持って育んでほしいと思っています。お子様のことで気になることがございましたら、遠慮せずに学校に相談してください。

（入学式式辞より）



新年度の始まりにあたって～凡事徹底・思いやり～

4月5日、落ち着いた雰囲気の中で2・3年生だけの始業式を行いました。その中で話したことは2つです。

1 凡事徹底・・・愛される頸城中生になるために

ささいなことや当たり前のことを確実に行う。例えば、自転車に乗るときに左側や歩道を1列で走る。ヘルメットを正しくかぶる。ゴミが落ちていたら、拾ってゴミ箱に捨てる。時間を守る。

2 思いやり・・・優しい心、相手をいたわるために

不安な気持ちをもっている人や困っている人に手を差し伸べよう。言われていやなことは黙っていてあげよう。

この2つができるようになると素晴らしい学校になるはずです。生徒と教職員、保護者、地域が一つになって生徒を育てていければと考えています。

よろしくお願ひします ～平成31年度転入職員～

職 名	氏 名	前 任 校 等
校 長	田中 敦	糸魚川市立根知小学校
教 頭	柳澤 淳	上越市立雄志中学校
教 諭	中嶋 俊之	糸魚川市立糸魚川中学校
講 師	井上 光廣	上越市立大和小学校（再任用）
講 師	小林 竜幸	新規採用
助 教 諭	山岸 君代	新規採用
教育補助員	松永 信宏	上越市立城東中学校
学校司書	歌川 宏枝	兼務として勤務（本務校：直江津中学校）

ある朝の日の教室で

4月。新たな気持ちで頑張る生徒の姿がとても多く見られ嬉しく思います。ところである日の朝、担任の先生方が頑張っている生徒たちに向けて黒板にメッセージを書いていました。いくつか紹介します。

